

令和2年度公共事業再評価諮問箇所「**継続**・中止」理由書等

(課名：道路課)

事業名 (路河川等名)	道路整備交付金事業(防災・安全交付金) 主要地方道 武雄福富線(福富工区)
<b>継続</b> ・中止理由	<p>当該区間は、有明海沿岸道路(佐賀福富道路)の末端ICとなる福富ICへのアクセス道路であり、大幅な交通量の増加が見込まれており、交通量増加に伴う交通事故の危険性が高まることが懸念される。</p> <p>また、通学路に指定されているものの、歩道は狭小な片側のみであり、朝夕の通勤時間帯は歩行者、自転車と車両が輻輳する状況となっており、早急な対応が求められている。</p> <p>これらのことから現道を拡幅し、両側歩道を整備することで交通の円滑化や児童生徒等の安全性の向上が期待されることから、事業を継続したい。</p>
B/Cの 算出方法	<p><b>【 便 益 】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行時間短縮便益 = 86.9億円</li> <li>・ 走行経費減少便益 = 22.0億円</li> <li>・ 交通事故減少便益 = 3.1億円</li> <li style="text-align: right;">合 計 = 112.0億円</li> </ul> <p><b>【 費 用 】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業費 = 24.0億円</li> <li>・ 維持修繕費 = 1.2億円</li> <li style="text-align: right;">合 計 = 25.2億円</li> </ul> <p><b>【 費用便益 】</b> B/C = <math>112.0 / 25.2</math> = 4.44</p>
備 考	

令和 2 年度再評価対象箇所 ( 前回再評価時より工期延長の事業 )  
 ( 対象 : 平成 3 0 年度再評価実施箇所 )

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	CO2削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)								
H30 再評価 時点	道路改良事業 主要地方道 武雄福富線 事業主体：県 事業地：杵島郡 白石町福富	道路改良事業 本路線が存在する地区 は杵島郡白石町の旧福富 町に位置し、福富中学校や 福富ゆうあい館(公民館や 図書館等の複合施設)を始 めとした公共施設や保育 園等が集まっており、歩行 者・自転車交通量が多い地 域となっている。 また、当該区間は有明海 沿岸道路(佐賀福富道路) の末端ICとなる福富I Cへのアクセス道路であ り、大幅な交通量の増加が 見込まれる。 現況は、車道幅員が狭小 で歩道も片側しかなく、朝 夕の通勤時間帯は歩行者、 自転車と車両が輻輳する 状況となっており、早急な 対応が求められている。 このため、現道拡幅及び 自転車歩行者道を両側に 整備し、車両交通の円滑化 及び歩行者・自転車の安全 性の向上を図るものであ る。	全体事業費：24.0億円 工期：H26～R2 事業内容 延長 L=1,200m 幅員 W=6.5(14.5)m 道路改良工 L=1,200m 地盤改良工 L=1,200m 函渠工 N=5基 舗装工 L=1,200m 测试 一式 用地補償 一式	○H29末進捗率 59.3% (事業費ベース) (年平均進捗率14.8%) ○用地補償契約 94.3%	現況交通量：2,254台/日 計画交通量：17,800台/日 交通管理者との交差点協議 により、福富三差路交差点が 「交通の安全と円滑」のため 廃止され、当該事業区間の交 通量の増加が見込まれること で事業の計画内容に変更が生 じた。	事業採択時と 比較して大きな 要因の変化は見 られない。 B/C=4.72	(コスト削減) ・本工区は、全線 軟弱地盤上に構築 することとなるた め、地盤特性を的 確に把握し効率的 な軟弱地盤対策工 法を選定しコスト 削減を図る。 ・工事で発生する 残土を盛土等に流 用する。 (代替案の検討) 特になし	社会情勢の急 激な変化のため 再評価 交通量の変化 により事業の計 画内容に変更が 生じたため。	継続 (理由) 当該箇所の 事業の必要性 に変化がなく、 交通の円滑化 と交通安全を 図るため、事業 を継続したい。									
										現時点	道路整備交付金 事業 主要地方道 武雄福富線 事業主体：県 事業地：杵島郡 白石町福富	全体事業費：24.0億円 工期：H26～R5 事業内容 延長 L=1,200m 幅員 W=6.5(14.5)m 道路改良工 L=1,200m 地盤改良工 L=1,200m 函渠工 N=5基 舗装工 L=1,200m 测试 一式 用地補償 一式	○R1末進捗率 76.9% (事業費ベース) (年平均進捗率12.8%) ○用地補償契約 94.3%	現況交通量：2,254台/日 計画交通量：17,800台/日 今後、開通を予定している 有明沿岸道路福富IC及び令 和元年6月1日にオープンし た道の駅「しろいし」へのア クセス道路として、交通量の 増加が見込まれる。	前回評価時 (H30)と比較し て大きな要因の 変化は見られな い。 B/C=4.44	同上	前回再評価時よ り工期延長のた め再評価	継続 (理由) 当該箇所の 事業の必要性 に変化がなく、 交通の円滑化 と交通安全を 図るため、事業 を継続したい。
										理由等	交付金事業への 移行	用地交渉に時間を要 したため。						

